



【専門分野】 理論社会学・現代社会論

情報化社会 / ポスト工業社会 / 産業と地域コミュニティの再生

【研究内容】

1. 理論的には、ポストフォーディズム、ポスト工業社会、リスク社会、リキッド社会などさまざまに呼ばれる現代社会の構造変化を分析している。フレキシビリティ、不確実性、個人化をキーワードに、社会システムとしての市場、行政、コミュニティの相互関係、個人化する社会での集合行為の可能性を問題にしている。

2. 実証的には、グローバル化とポスト工業化のもとで、格差の拡大が問題になるなかで、名古屋都市圏を事例に、コミュニティ構造や社会関係資本の違いが格差の拡大・是正とどのように関連しているのかを調べている。また、環境学研究科ORTプロジェクトに参加し、伊勢湾流域圏を調査している。

【著書・論文等】

- ・グローバルゼーションと情報・コミュニケーション、河村則行、黒田由彦他、文化書房博文社、2002年
 - ・組織と情報の社会学(共著)、文化書房博文社、津村修、加藤清明、河村則行他、2007年
 - ・中小企業研究入門 産業・労働社会学的アプローチ、文化書房博聞社、北島滋、山本篤民、河村則行、他、2010年
 - ・ポスト工業社会と不確実性―「生産の世界」論からの考察―、河村則行、社会学論集30号(頁:71-86)、2010年
 - ・「名古屋」の都市空間の再編とコミュニティ形成 東海社会学会年報8号、2016年
- ほか



名古屋の市街地



東白川村の茶畑

